

## タブレット導入で支援記録の作成を効率化！ 手書きメモからICTを活用した情報共有・伝達へ

【法人名】社会福祉法人 慶徳会  
【事業所名】障がい者サポートセンターしみず  
【提供サービス】生活介護

### 導入機器等の内容

タブレット：3台  
皮膚赤外線体温計：3台  
ソフトウェア（記録 情報共有）  
⇒ほのぼのケアパレット  
Wi-Fi・アクセスポイント：3台



### 導入の理由（抱えていた課題）

- 支援記録を含め ほとんどの記録を手書きで行い、支援中はメモをとって後から記録用紙に清書していたため、二度手間になっていた
- 後から清書するため、リアルタイムで記録の確認ができなかった
- 感染予防対策として、1日2回の検温の結果をメモから支援記録に転記する必要があった

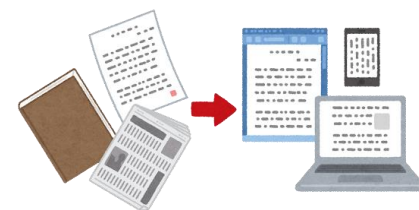


## タブレット導入で支援記録の作成を効率化！ 手書きメモからICTを活用した情報共有・伝達へ

【法人名】社会福祉法人 慶徳会  
【事業所名】障がい者サポートセンターしみず  
【提供サービス】生活介護

### 導入の効果（詳細）

- ・タブレットで直接記録できるようになり、後から清書する必要がなくなった
- ・事業所内のどこにいてもリアルタイムで情報の共有・伝達ができるようになった
- ・データ管理することで紙代や印刷代が減少した
- ・今まで転記していた時間を、ご利用者支援に充てることができた



### 年間業務時間削減率：20%

→これにより確保できた時間を「ご利用者支援」や「職員間のコミュニケーション」に活用した！



### 紙代、印刷代、残業代の縮減

→これにより確保できたお金を、建物の補修やエアコン洗浄などの「事業所の環境整備」に充当した！

【法人名】社会福祉法人 慶徳会  
【事業所名】障がい者サポートセンターしみず  
【提供サービス】生活介護

## タブレット導入で支援記録の作成を効率化！ 手書きメモからICTを活用した情報共有・伝達へ

### 導入の進め方

- ① 現場で使用している記録用紙やメモの活用方法を確認し  
メリットやデメリットについて聞き取りを行った
- ② ①を踏まえて台数や使用方法を決定した



### 〈工夫した点〉

- ・ ICT推進担当者を決め、まずは担当で運用を開始し、使用に慣れてきてから勉強会を開催し他の職員に伝達した。
- ・ 運用しながら使用方法の見直しを行い、より使いやすくなるよう改善を行った。

### 職員の声

#### 〈良かった点〉

- ・ メモを清書する必要がなくなり二度手間にならず楽になった
- ・ 伝達忘れの防止とリアルタイムでの情報共有
- ・ 印刷の手間が省けた

#### 〈他に導入したい機器等とその理由〉

- ・ ソフトウェアの充実：支援記録だけではなく個別支援計画や会議録の入力など一元管理したい
- ・ インカム：ご利用者に配慮しつつ声を掛け合いながら情報共有がしたい

